

●東京家政大学大学院 (H30.5.1 現在)

専攻 項目	人間生活学	児童学児童教育学	健康栄養学	造形学	英語・英語教育研究	臨床心理学	教育福祉学
専任教員と非常勤教員の比率	7:3	7:3	5:5	9:1	7:3	5:5	5:5
留学生数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
海外派遣学生数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

●東京家政大学大学院 (H30.5.1 現在)

専攻	29年度 修了者	進学	教員	他の保健 医療職	他の専門 技術職	事務他	販売他	就職計	未定等	備考 (教員内訳)
人間生活学	4*		2		1			3	1	大2
児童学児童教育学	6		5			1		6		大3短1他1
健康栄養学	11		3	4	1		3	11		大3
造形学	5		3					3	2	大2中1
英語・英語教育研究	1		1					1	0	中1
臨床心理学	7				6			6	1	
教育福祉学	1				1			1	0	
合計	35	0	14	4	9	1	3	31	4	大10短1中2他1

\*満期退学者2名含む(学校基本調査「卒業後の状況調査票(2-1)」に基づき作成)

●施設設備その他の教育研究環境

大学院関係施設は、大学 16 号館 2 階に大学院の講義室 3、院生研究室 6、研究科長室／客員教授控室 1、事務室 1 があり、第 1～第 5 院生研究室には各 5 台のデスクトップ PC と各 1 台のプリンター、計 13 台のノート PC を設置、データ解析ソフトを 24 台に搭載し研究環境を整備している。共用プリンター、コピー機を設置した第 6 院生研究室は、共同利用としている。院生研究室・講義室では、PC、インターネットを無線 LAN で結び、第 6 院生研究室、講義室の空時間も利用して研究できる環境を準備している。実験系の施設設備、実習施設としての臨床相談センター、指導教員の学生指導室、図書館、保健センター、食堂等の施設設備は大学と共用している。

●学生の学修、進路選択及び心身の健康等に係る支援

大学院における、学生の学修、進路選択への支援は、研究指導教員をはじめとする教員による指導、支援及び学生支援センターキャリア支援課の大学院担当窓口と大学院事務室の職員による相談、情報提供等による。心身の健康等に係る支援は、研究指導教員等、大学院事務室の支援とともに、大学保健センターで専門職員による相談が可能な体制をとっている。

●国際交流・社会貢献等の概要 (詳細は国際交流センター、臨床相談センターのページ参照)

大学国際交流センターの協定校との国際交流プログラムに大学院生も参加できる。留学中の授業料減免も実施している。臨床心理学専攻の実習施設として学内に設けた臨床相談センターによる学外者の相談活動を、臨床心理士資格を持った指導教員とともに大学院生も担当し、地域社会に貢献している。大学院連携校はない。大学院生の研究活動の中で企業、行政等との連携が実践されている。